

過去最多36本の 講習会を予定

日測協九州支部
定時業務報告会

日本測量協会（日測協）九州支部（山本旗年支部長）は7日、福岡市博多区のオリエンタルホテル福岡博多ステーションで第60回定時業務報告会を開き、2023年度の事業計画や収支予算などを決めた。

開会に当たり、山本支部長は正会員が6月末時点で1012人と1000人の



大台を達成したことに対して「会員皆さんの理解と協力にお礼を述べたい」とあいさつした。写真。

事業計画によると、23年度はオンライン講習によるオンデマンド方式を新たに取り入れ、過去最多の年間36本の講習会を行う予定。

測量業発展へ 一層の努力誓う

日測協九州支部
60周年記念式典

日本測量協会（日測協）九州支部（山本旗年支部長）は7日、福岡市博多区のオリエンタルホテル福岡博多ステーションで創立60周年の記念式典を開いた。写真。式典には山本支部長をはじめ同協会の清水英範会長、森戸義貴九州地方整備



局長ら来賓・関係者らが出席。60周年を祝うとともに九州の測量業発展のために一層努力することを誓った。

式典の式辞で山本支部長は「協会設立目的の通り測量技術者への協力、会員相互の親和、社会的な地位の向上に一層努力してい

きたい」と述べた。

森戸九州整備局長は「私たちの仕事の最上流の仕事をしてもらっているのが測量関係。効率的な予算執行で最大限の成果を残すことに協力をいただきたい」、国土地理院の桶屋敏行九州地方測量部長は「BIM/CIMの推進など生産性向上の取り組みで重要なのは測量成果の品質の確保。測量成果の第三者検定機関として協会の役割がさらに重要になってくる」と祝辞を述べた。

清水会長は「公共事業の最上流を担うエンジニア集団としてますます活躍してもらいたい」と話した。

式典後には清水会長の「日本測量協会と学会活動」と題した記念講演会や記念祝賀会があった。